

令和 6 年度丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）

【目標】

住み慣れた丹波篠山市で、人生の最期までを安心して暮らし続けられるよう、医療・介護の関係機関が連携し、多職種協働による在宅医療・介護を継続的・包括的に提供できる体制を整備する。

【具体的項目】

(手段)① 医療・介護事業者間の情報連携

- ・篠山つながり手帳の運用継続とDX化（ヘルスケアパスポートの運用）等による多職種連携の充実
- ・入退院時における継続的支援への連携の充実

② 人生会議の周知・啓発と実施

- ・多職種連携会議「この指と～まれ」の年間のテーマを「人生会議（ACP）」とし、専門職の知識向上を図る。
- ・市民に「わたしの大事をつなぐノート」・「人生会議」の周知を続ける。

(内容)

・5月16日 第1回多職種連携事業「この指と～まれ」

ミニ講義：人生会議について① テーマ「知ってるようで知らない、救急搬送」
意見交換：本人の思いをつなぐため、救急搬送等の現状や役割を理解する。

・7月 日 第1回 丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会

ヘルスケアパスポート運用実施の現状（篠山つながり手帳 DX 化）と今後の進め方について。

・9月19日 第2回多職種連携会議「この指と～まれ」

ミニ講義：人生会議について②

テーマ「人生の最期を自宅で過ごしたいんや!を支えるために(仮)」

事例を通じて、介護支援専門員から

意見交換：それぞれの職種での関り

・11月30日「人生会議の日」の周知啓発：専門職向け研修会

テーマ「訪問介護員発信の人生会議～人生会議の始まりは身近な支援者から～(仮)」

・1月16日 第3回多職種連携会議「この指と～まれ」

ミニ講義：人生会議について③

テーマ「人生の最期まで自宅らしく過ごしたいんや!を支えるために(仮)」

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職の立場から

意見交換：それぞれの職種での関り

・2月 日 第2回 丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会

- ・令和7年度からのヘルスケアパスポート運用実施について（篠山つながり手帳 DX 化）
- ・令和6年度の事業実施報告

*入退院時連携については、丹波健康福祉事務所と丹波圏域内の7病院と介護支援専門員間で運用状況の確認と見直し等を行っていく。